

2020年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(春期・一般選抜) 問題

専門科目 I 文化人類学 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

成	
績	

2020年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(春期・一般選抜) 問題

専門科目 I (文化人類学 専攻分野)

A 以下の設問に、それぞれ1ページ以内で答えなさい。(解答欄は2頁～4頁)

問1 文化人類学は、「もの (artifact, material, thing)」をどのように研究してきたか。また、近年はどのような研究が行われているか。代表的な研究者の名を挙げ、その研究内容に触れながら、具体的に論じなさい。

問2 「公共人類学」と「応用人類学」について、両者の違いにも触れながら、その内容を説明しなさい。また、この二つの人類学が現代社会の諸問題の解決にどう貢献できるか論じなさい。

問3 あなたが修士論文研究で取り上げようとしている研究テーマは何か、そのテーマはこれまでどのように文化人類学者によって研究され、どのような理論と関係づけられてきたか、20世紀後半から現代に至る文化人類学の学説史に位置付けながら論じなさい。

B 以下の用語、人名、民族名の中から5つを選び、それぞれについて3行以内で説明しなさい。

(解答欄は5頁)

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| (1) autoethnography | (2) bricolage |
| (3) cognitive anthropology | (4) diffusionism |
| (5) folk society | (6) Geertz, Clifford |
| (7) initiation | (8) moral economy |
| (9) prestation | (10) Yanomami |
-

* 6～7頁は下書きに使うてよい。

受験記号番号	
--------	--

B () 内に選んだ用語等の番号を記入し、それぞれの解答を記すこと。

()

()

()

()

()

